

知ってますか

リニア
モーターカー

車輪の代わりに磁気などを用いて浮上し推進する鉄道システム。車輪では時速300kmが限度とされるが、それ以上の高速運転が可能だ。愛知万博の入場者輸送用にこのほど開業した愛知高速交通「リニモ」は、磁気浮上式リニアモーターカーとしては国内初の営業路線。中国では、2002年に実用化された。

知ってますか

竹島

島根県隠岐諸島の北西にあり、2つの島と岩礁からなる。総面積は約0.23km²で東京日比谷公園と同じくらい。1905年、日本政府が竹島と命名し領土に。52年に韓国が主権を宣言（韓国名・独島）して以来、両国が領有権を主張しています。島根県議会の「竹島の日」制定条例案をめぐり韓国が反発を強めている。

核兵器廃絶の実現のため

NPT再検討会議・ ニューヨーク100万人 共同行動へ 大阪自治労連から 11人の代表団

すすめている。こうした動きを世界的な世論と運動で阻止し、NPTの核兵器廃絶にむけた積極的内容の前進をはかることが代表を派遣する大きな目標だ。全国から約800人、大阪自治労連から6単組11人が参加する。

5月1日のニューヨーク100万人行動をはじめとした世界的な規模での核兵器廃絶行動が計画されている。核兵器廃絶の署名と願いを代表団に託しましょう。

代表団は、NPT再検討会議傍聴、各国政府への要請行動、5・1ニューヨーク行動への参加、「いま、核兵器の廃絶を」国際署名共同行動、各国やアメリカのNGO反核平和団体との交流などの行動が予定されている。この代表派遣を契機に、21世紀のできるだけ早い時期に核兵器廃絶を実現する展望を切り開きましょう。

NPT（核不拡散条約）再検討会議が5月2日から開かれる。5年に1度開催されるこの会議は、前回2000年の会議最終文書で、世界の世論の圧倒的な要求を前に、核保有国が「自国の核兵器の完全廃絶」を「明確な約束」として受け入れる画期的な成果をもたらした。一方で、アメリカはこの条約に反して未臨海核実験をくり返し、小型兵器の新たな開発・生産を狙い、そのために今回のNPT再検討会議でのこの条約を死文化させる策動を



学習会で講演する大阪原水協理事長の篠浦一朗氏

ニューヨークへ
行ってきます！

いま私の
出番です！！

大阪自治労連代表団 団長
尾崎 一美さん
(貝塚市職労)



世界の平和に
少しでも貢献したい

でも、青年部活動を通じて、「それではアカン」とまじめに「平和」を考え行動している人たちに出会い平和の尊さを実感しました。どんなに学習し、しっかり体験を積んで私自身ももっと平和を発信できる人間になりたくてニューヨーク行きを決定しました。大阪自治労連代表団の団長として一杯がらばって世界の平和に少しでも貢献したいと思います。

青年部の活動をするようになって、『平和』について考える機会が増えました。同時に、いろんな矛盾も感じるようになってきました。『核兵器』の問題もその1つ。「何でなくねれんの？」ってよく考えます。人間には、せっかく学習能力があるのに、大事なところで活かされてなくて、知らず知らずの間違った方向へいくことがあります。

初めての交渉でサービスマン残業の是正も

「ありがたいことに自主的にやってくれている」と副園長が交渉の場で言った超過勤務も仕事として認めさせ、就業規則や超過勤務手当・給料のあり方も改善させた。また、昨年「不幸な

事故」が起こり、子どもたちから目が離せないからと休憩時間を返上させていた分も合わせて、この3月にすべて清算させた。「今年の献立は去年の4月の分がいい、と言われ、私たちが

休憩や勤務時間を守るために仕事はしたくないと思われているようで、とても残念なんです」組合つくって迷惑や、子どもたちのためには自己犠牲も当然、仕事の歯車がくるったとい

う意見もあり、風当たりが強いのも事実。「同じ保育所に働くもの同士としても話したいし、子どもたちのためにいいことはとどんどんやっていきたい」「話し合っているとところはいろいろあると思うんです」。「この仕事が好きだからと仕事をしたい」。それが、山形さんの願いだ。

職場はいま

102

職・場・メ・モ

大阪市城東区にある「社会福祉法人 ぐれない保育所」。職員約40名、園児約250名の大きな保育所。1956年に創立、地域の保育・子育てに長い歴史をもつ保育所でもある。JR鳴野駅から南東に、商店街をぬけ10分ほど歩いた住宅街にある。保育所はもろろんのこと隣接した公園から子どもたちの元気な声が響いてくる。



労働条件の改善が子どもたちのためのいい保育につながる

大阪市公務公共労働組合 ぐれない保育所分会



ぐれない保育所分会の山形美佳さん

「おいしいって言ってもらるのが最高。どんなにいいものを作りたい」。

山形さんたちは調理場に朝8時30分に出動し、食材が搬入される8時50分から準備、調理を始める。保育士はすでに7時から子どもたちを迎え園内にはぎやか。栄養士の資格をもつ正規職員3名とパート調理員1名で、職員、園児合わせた約300食をつくる。午前中ではてんこまの調理室だ。

山形さんたちは昨年4月に採用され、今年2年目を迎える。「この夏に、みんなで一生懸命立てた献立を、だめだと言われたんです。4時30分までが勤

新年度を迎えたくない保育所。子どもたちが楽しみにしている「給食」。子どもたちに喜んでもらいたい、旬の味を献立に盛り込み、毎日調理しているのが栄養士でもある山形美佳さんたち。1月17日、自治労連・大阪市公務公共労働組合（市公労）の分会を結成した。

務なのに7時まで仕事をして、すべてサービスマン残業。家に持ち帰ってやる日もありました。3カ月こんな生活が続いて、疲れもピークに達していた時に友人に相談したところ、市公労の武久さんを紹介してもらったんです。

みんなの思いを園に伝えたい

昨年9月から、「サービスマン残業」や「休憩時間取得」で問題を抱えていた。「園側とかなかなか話が通じなくて」。自分たちの仕事をこうやっていきたいという意見もうまく伝わらない。職場で言いたいことは一杯あるのに。「保育士は、以前、仕事が終わっても帰れない雰囲気もあった」「常識を外れた『あいさつ』の仕方、昼食時間が遅れたり、一日数え切れないくらいあいさつをしたり」。決まったことが人によって覆されたこともあり「お泊まり保育の次の日に調理室はぐちゃぐちゃ。言ってくれたら調理員として協力もできるのに」。

仕事がいやなのではなく、いまいきと働きたいのです

労働者としての権利を守りたい、当たり前前に仕事をした、子どもたちによりおいしい給食を作りたいと、組合を結成し、1月29日には職場の要求にもとづいて、第一回目の交渉も行った。

思いを押し合って働きたい職場を！